

ろうさい通信 【Vol.8】



梅雨が開けいよいよ夏本番を迎えるこの頃、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。日頃より患者様のご紹介・逆紹介において大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。今月は眼科の紹介をさせていただきます。



診療科紹介 「眼科」

眼科のスタッフは、**医師4名**（常勤2名、非常勤2名）、**視能訓練士3名**（常勤1名、非常勤2名）、**事務職員2名**、**看護師1名**を配属しています。

外来診療は、2診制で午前に一般外来、午後に予約検査・手術を行っています。診療対象は眼疾患全般ですが、主に**白内障手術**、**後発白内障のYAGレーザー治療**、**緑内障の薬物療法**、**糖尿病網膜症のレーザー治療**、**黄斑疾患の薬物療法（抗VEGF薬硝子体注射）**を行っています。

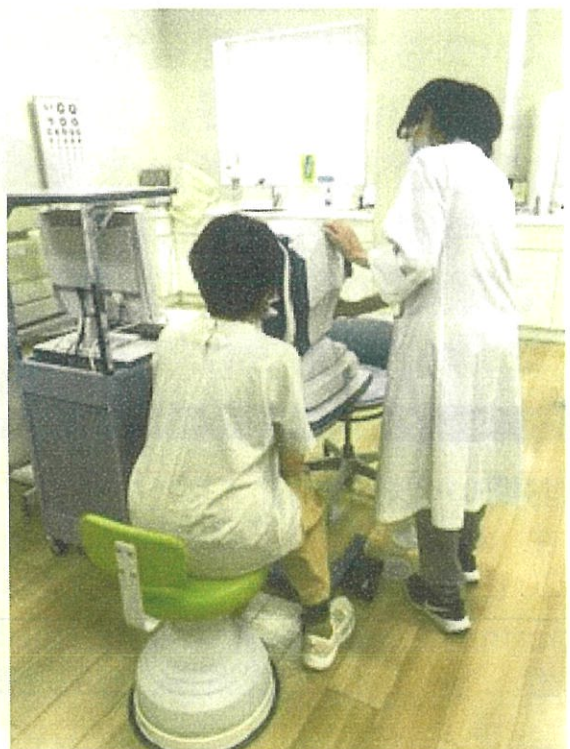
白内障について

手術は視力障害の程度や合併症の有無等を勘案して**患者さんと相談して決定**しています。

入院（1泊2日）、日帰りの両方に対応しています。

局所麻酔困難例は麻酔科に依頼して全身麻酔での手術も行っています。

眼内レンズ強膜内固定を要する症例や保険適応外の眼内レンズ（多焦点眼内レンズ）を希望される場合など是对応可能な医療機関へ紹介しています。



緑内障について

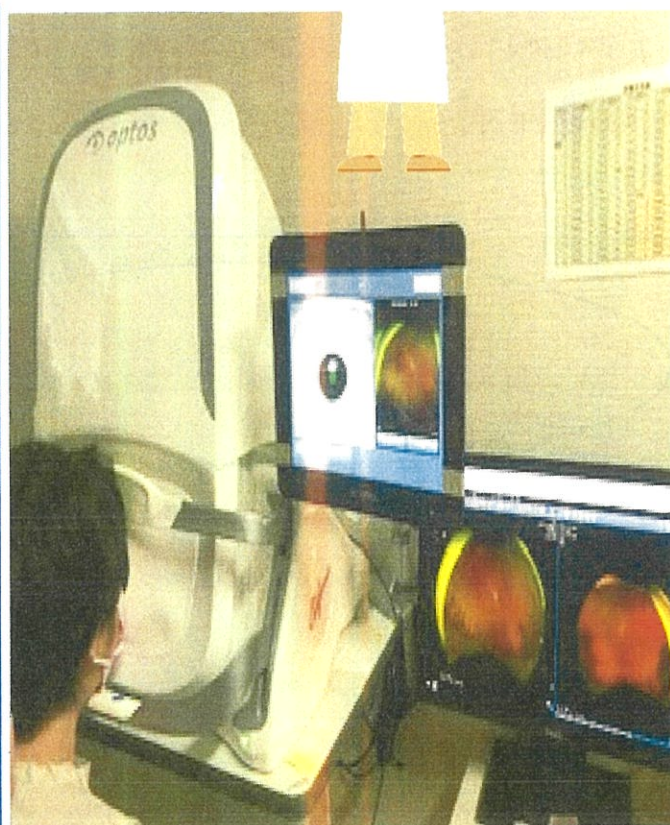
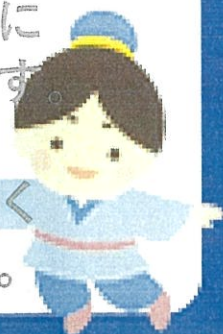
自覚症状なく緩徐に視野狭窄が進行し、末期には視力障害に至る視神経疾患です。罹患率は40歳以上の16人に1人で、日本の中途失明原因の第一位です。人間ドック等の眼底検査で偶然発見されることが多く、治療は眼圧下降・視神経保護作用のある点眼薬の継続投与、効果不十分な場合は手術を行います。当科では網膜光干渉断層計（OCT）、視野計（ハンフリー自動視野計、ゴールドマン動的視野計）等を用いてドックの二次検査、緑内障診断、薬物療法を行っています。手術が必要な場合は専門医療機関に紹介します。

糖尿病網膜症について

自覚症状なく進行するため、糖尿病患者さんの定期眼底検査は重要です。当科では定期眼底検査、フルオレセイン蛍光眼底撮影やOCTによる網膜症の病期診断、網膜光凝固治療、黄斑浮腫に対する抗VEGF薬硝子体注射を行っています。硝子体出血、網膜剥離など硝子体手術が必要な症例は専門医療機関へ紹介しています。



連携医療機関の
先生方・スタッフ
の皆様方におかれましては、
日頃より格別のご厚情を
賜り厚く御礼申し上げます。
いつも大切な患者様を
ご紹介いただき、誠に
ありがとうございます。
今後ともご指導・
ご鞭撻のほどよろしく
お願い申し上げます。



【お問い合わせ先】

住 所：〒702-8055 岡山市南区築港緑町1丁目10番25号
T E L：（代表）086-262-0131 FAX：086-263-2587
E-mail：kansapo@okayamah.johas.go.jp
担 当：岡山労災病院 地域連携室

